

エネルギー分野において検討すべき課題・取り組みについて

平成25年11月18日
エネルギー戦略協議会事務局

科学技術イノベーションに向けたアプローチ

「第4期科学技術基本計画」基本方針

- ・科学技術イノベーション政策の一体的展開
- ・人材とそれを支える組織の役割の一層の重視
- ・社会とともに創り進める政策の実現

「科学技術イノベーション総合戦略」基本的考え方

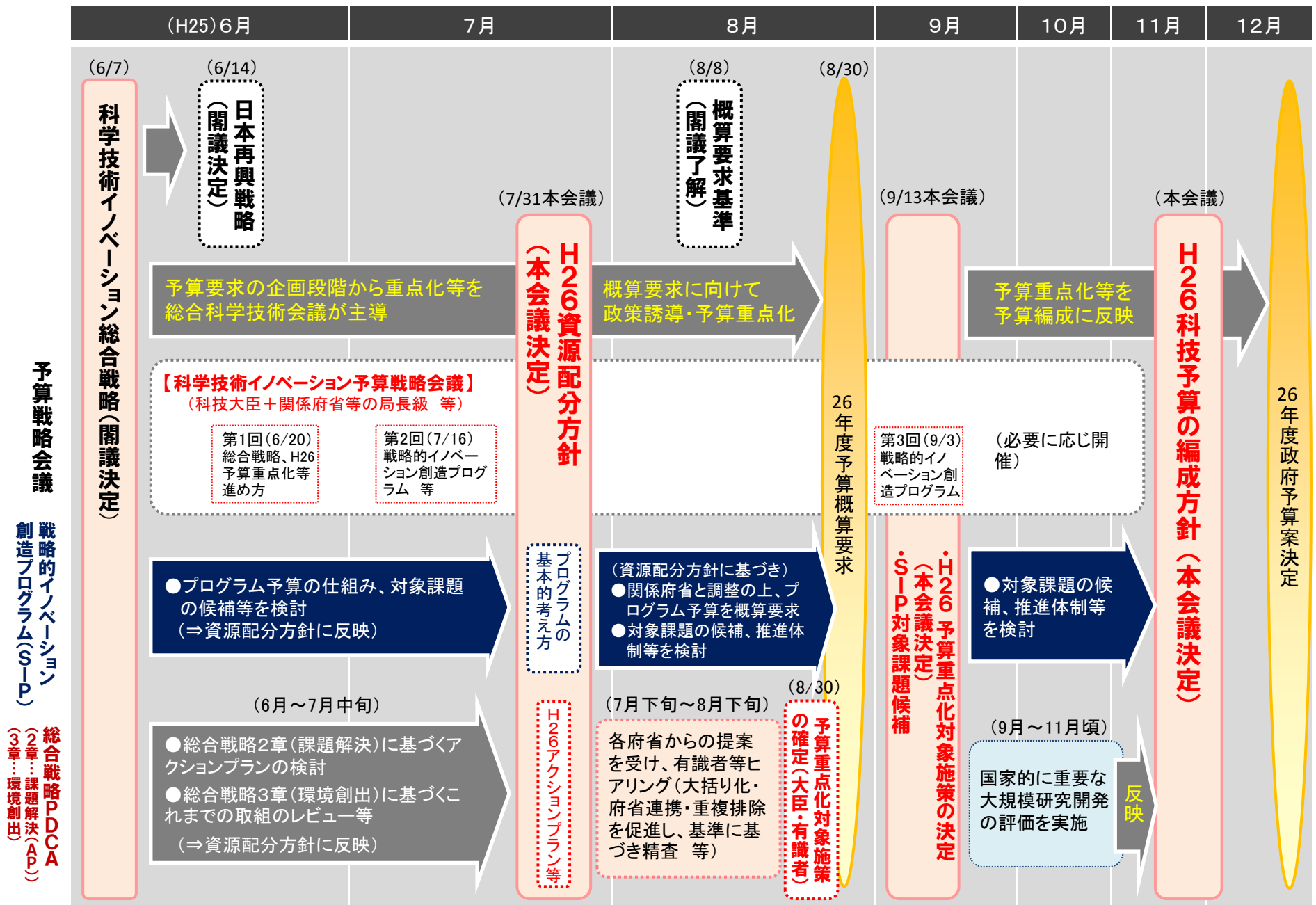
- ・科学技術イノベーション政策の全体像を含む長期ビジョン＋短期行動プログラム
- ・課題解決型志向の科学技術イノベーション政策の包括的パッケージ
- ・産官学連携の役割分担、責任省庁を明示し、予算・税制、規制改革等の様々な政策を組合せ
- ・基礎研究から応用研究、実用化までの研究開発段階だけでなく、その川上・川下段階の範囲を拡大
- ・予算と直結した年間のP D C Aプロセスにより、施策を評価・見直し



平成26年度アクションプラン施策特定における取り組み

- 重点的課題の設定
- 施策の大括り化の促進
- 詳細工程表の作成

平成26年度科学技術関係予算に関する主なスケジュール



エネルギー分野における重点的課題の設定

産業競争力の強化に向けて、科学技術イノベーション総合戦略及び平成26年度アクションプランにおいて「クリーンで経済的なエネルギーシステムの実現」を政策課題として掲げ、以下の通り重点的課題・重点的取組を設定。

重点的課題	重点的取組
クリーンなエネルギー供給の安定化と低コスト化（生産）	(1) 革新的技術による再生可能エネルギーの供給拡大
	(2) 高効率かつクリーンな革新的発電・燃焼技術の実現
	(3) エネルギー源・資源の多様化
新規技術によるエネルギー利用効率の向上と消費の削減（消費）	(4) 革新的デバイスの開発による効率的エネルギー利用
	(5) 革新的構造材料の開発による効率的エネルギー利用
	(6) 需要側におけるエネルギー利用技術の高度化
高度エネルギーネットワークの統合化（流通）	(7) 多様なエネルギー利用を促進するネットワークシステムの構築
	(8) 革新的エネルギー変換・貯蔵・輸送技術の高度化

施策の大括り化の促進

産業競争力の強化を早急に実現させるため、H26年度アクションプラン対象施策の特定過程で各府省を一堂に参集したヒアリングを行い、施策群の責任府省の明確化、施策関係府省間の連携方策の助言等を実施。

関係府省を一堂に会してヒアリングを実施



連携施策ごとアクションプラン対象施策として特定

No.	小分類	施策番号	再掲	連携 単独 の別	責任 府省	事業期間	H26年度予算 (概算:百万 円)	予算 新規 継続	H25 AP/ 重ハ	特定における特記事項
1	洋上 風力	工・経43		連 経		H25~H28	5,188	継続	AP	・本施策は、将来的な超大型の浮体式洋上風力発電システムの開発に向けて、洋上風況観測システム、着床式洋上風力発電システム、小中規模浮体式洋上風力発電システムの開発を行うものであり、コンポーネント等を含む周辺産業に対する経済効果も大きいことから、意義は認められる。 ・経産省が近々での実用化を目標とする大型着床式洋上風力の開発、環境省がより先の実用化を目標とする浮体式洋上風力の開発に伴う環境影響調査等といったように、明確な役割分担のもと両省が一体となって推し進めており、成果の効率的な受渡や活用が見込める点についても評価される。
2		工・環01				H22~H27	1,369	継続	AP	・今後は、電力系統を含めたトータルなシステムの検討など、当該施策の成果を普及展開させるための計画や施策連携が必要である。

詳細工程表の作成

特定された施策のP D C Aサイクルを着実に実施するため、詳細工程表を作成。成果の検証が可能となる数値などを含む達成目標とその達成時期、目標の達成に向けて取り組むべき具体的取組や中間目標を明示。

